

第1章 「道の駅」の概要

1-1 基本計画の位置づけ

基本構想では、日進市「道の駅」のあり方について、従来の「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」+「防災機能」を基盤に、日進市の個性や特性、大学や市民自治活動等の地域資源を活かした、地域課題の解決とともに、これからのまちづくりに向けた地域の拠点としての整備を目指すこととしました。

そして、「道の駅」の整備を契機に、さらなる市民間の交流や機能連携が図られることで、都市活力やにぎわいが創出され、持続的なまちの発展と活力につながっていく、市民ベースの都市型「道の駅」の形成を目指します。

基本計画は、基本構想で示された基本的な考え方にに基づき、整備する機能や運営の手法等について、基本構想の理念を実現するための具体的な方策について示すものです。

1 - 2 「道の駅」の概要

現在、全国で「道の駅」が設置され、車で移動する人々に幅広く利用されています。

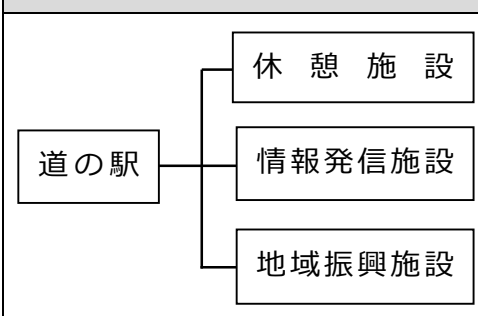
国土交通省によって登録されている「道の駅」は、平成 29 年 11 月 17 日現在、1,134 箇所です（愛知県内では 16 箇所）。

平成 5 年 2 月 23 日に「道の駅」登録・案内要綱が創設、同年 4 月 22 日に第 1 回の登録以来 24 年が経過し、開設当初は、ドライバーに対する運転時の安全確保のための休憩場所としての色合いが強くありましたが、現在では、地域産業振興のための交流拠点としての意味が強くなっています。

(1) 「道の駅」の施設構成

「道の駅」は、国土交通省の登録制度です。基本機能である「休憩施設」「情報発信施設」と付加機能である地域の自主的工夫による「地域振興施設」の 3 つの施設で構成されています。

なお「道の駅」の登録には、「休憩施設・情報発信施設」（基本機能）の設置が必須です。

施設内容	具体的内容
	駐車場、トイレ 道路情報、観光情報、 インフォメーションコーナー等 農産物直売所・加工所、 地場産品を使用した食堂等

【提供サービス】

- ・ 駐車場：24 時間利用可能で、利用者が無料で利用できる十分な容量の駐車場
- ・ トイレ：清潔で 24 時間利用可能で、多機能トイレも設置
- ・ 情報発信施設（案内サービス）：原則、案内人がいて道路や地域情報を提供
- ・ 地域振興施設：特産品等販売機能や交流機能等を活用したサービスを提供

(2) 近年の動向

1) 「道の駅」による地方創生拠点の形成

元々、ドライバーの休憩施設として生まれた「道の駅」は、まちの特産物や観光資源を活かしてひとを呼び、地域にしごとを生み出す核へと独自に進化しています。

国土交通省では、「道の駅」を経済の好循環を地方に行き渡らせる成長戦略の強力なツールと位置づけ、関係機関と連携して特に優れた取組を選定し、重点的に応援する取組を実施しています。また、「道の駅」を地方創生の拠点とする先駆的な取組をモデル箇所として選定し、関係機関が連携して総合的に支援しています。



図 1 重点「道の駅」に想定される機能

出典：「道の駅」による地方創成拠点の形成（国土交通省HP）

【平成 26 年度選定】

- 全国モデル「道の駅」 全 6 駅
- 重点「道の駅」 全 35 駅
- 重点「道の駅」候補 全 49 駅

【平成 27 年度選定】

- 重点「道の駅」 全 38 駅

【平成 28 年度選定】

- 特定テーマ型モデル「道の駅」
住民サービス部門6 駅

【平成 29 年度選定】

- 特定テーマ型モデル「道の駅」
地域交通拠点部門7 駅



出典：モデル「道の駅」・重点「道の駅」の
概要（国土交通省HP）

2) 「道の駅」における大学連携の推進

「道の駅」は、大学にとって地域の課題や観光・物産等地域の資源が集まっており、観光振興や地域づくりを学ぶ場として絶好のフィールドです。

また、「道の駅」の運営にとっても、若者の視点による観光資源の発掘やイベント企画運営、HP作成やSNSのスキル等を活用した情報発信等、若い力の活用が期待できます。

具体的には、「道の駅」と大学が連携し、観光マップの作成、地元産品を活用した商品やメニュー作成、イベントポスター作成等様々な取組が進んでいます。



図2 「道の駅」における大学連携イメージ

出典：「道の駅」と大学の連携協定（全国「道の駅」連絡会HP）

3) 長期休暇を活用した「道の駅」での実習の推進（就労体験型実習）

全国「道の駅」連絡会は、「道の駅」と大学との連携を支援するため、特に長期休暇を利用した就労型の実習（インターンシップ）について、各大学の学生の実習「道の駅」の派遣先の調整を行っています。

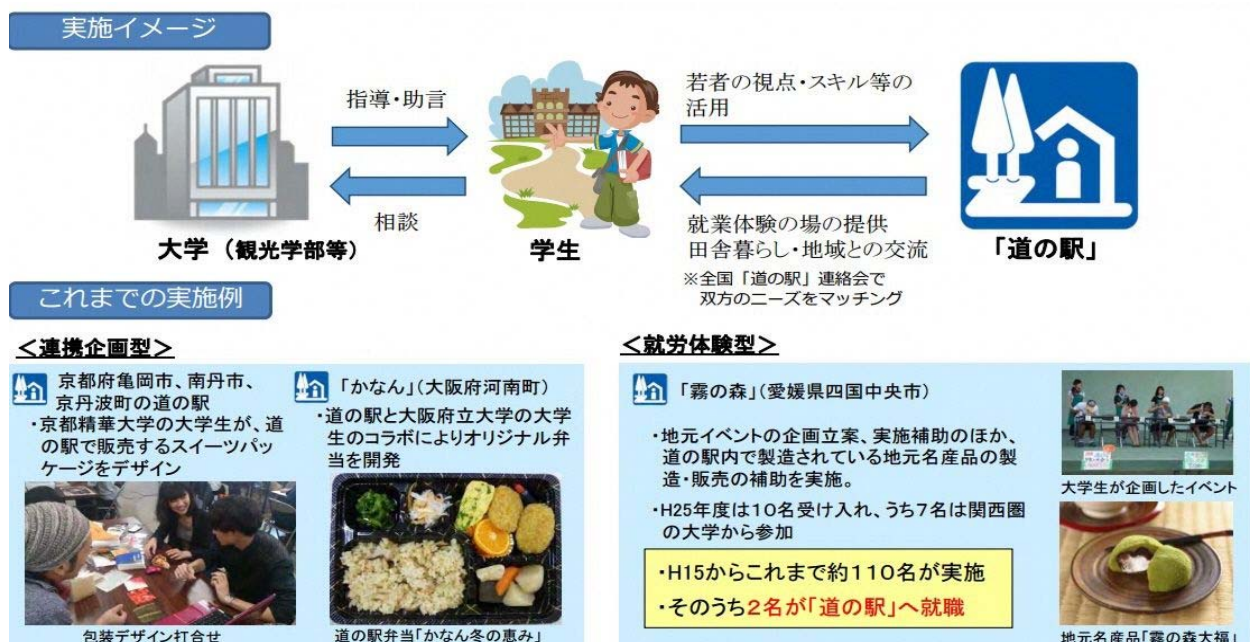


図3 インターンシップ実施例

出典：【平成28年度】「道の駅」と大学との連携・交流に関する取り組みのご紹介（全国「道の駅」連絡会HP）

1 - 3 計画地の概要

(1) 位置

計画地は、日進市のほぼ中央に位置する尾三消防本部日進消防署より、主要地方道瀬戸大府東海線を挟んだ西側付近（本郷町前田周辺）です。



出典：国土地理院 地理院地図

図 4 計画地位置図

(2) 土地利用

計画地の現況の土地利用は農地であり、主要地方道瀬戸大府東海線を挟んだ東側に市民農園・体験農園・実習農園があります。

敷地全体が南向きで太陽光を遮るものがないため、日照条件は良好といえます。

周辺の土地利用は、農地・戸建て住宅が主となっています。

計画地の西側では「にっしん夢まつり」が行われ、花火が見えます。

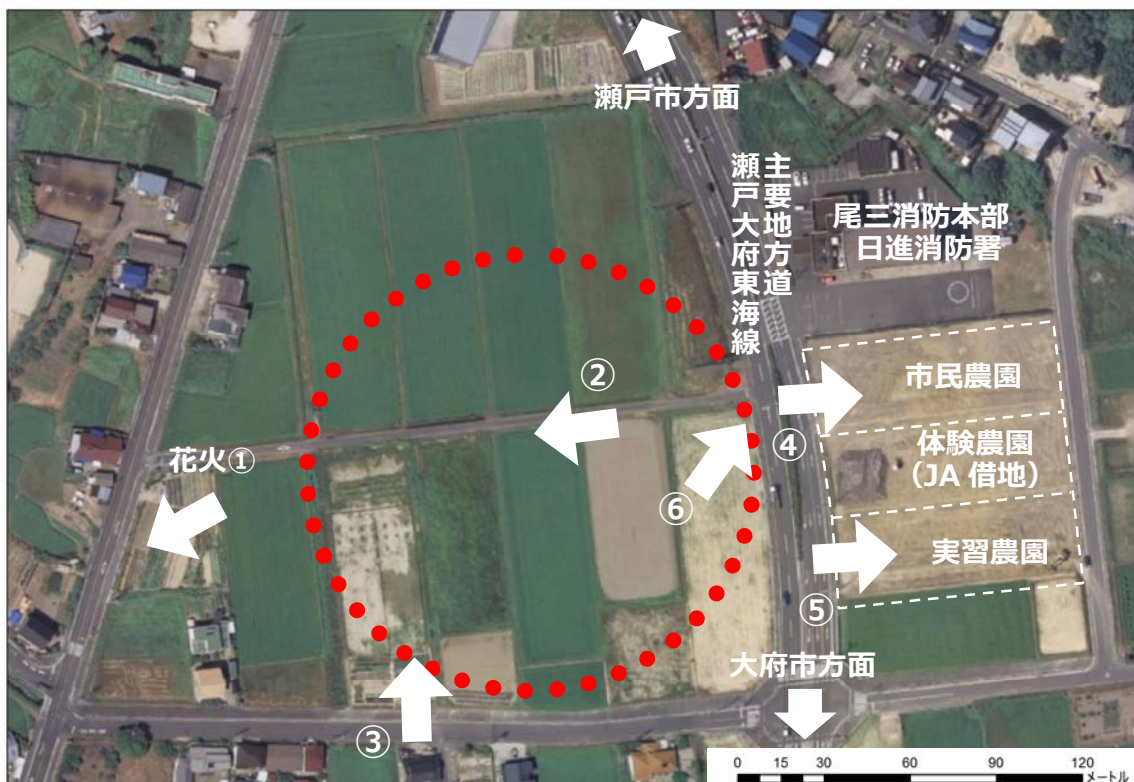


図 5 土地利用状況



(3) 周辺道路状況

計画地は、東側を主要地方道瀬戸大府東海線、西側を市道栄本郷線に囲まれています。

主要地方道瀬戸大府東海線は、愛知県瀬戸市から日進市・豊明市・大府市等を経由して東海市に至る4車線道路であり、第2次緊急輸送道路に指定されています。

主要地方道瀬戸大府東海線には中央分離帯があるため、瀬戸市方面からは直接出入りできず、日進消防南交差点を右折して入ることになります。大府市方面からは、日進消防南交差点を直進と左折で入ることができます。

瀬戸市方面へは、主要地方道瀬戸大府東海線を直接左折して出ることができ、また、市道を通じて日進消防南交差点を左折して出ることができます。大府市方面へは、日進消防南交差点を右折して出ることになります。



図 6 周辺道路状況